

基金訓練の不正事案に係る全国調査について

1 調査目的

訓練生活支援給付等の申請に当たり、受講生の訓練出席状況について虚偽の報告を行うこと等の不正事案がないか、全国の訓練実施機関への訪問調査により確認、把握する。

2 調査の内容

調査対象：基金訓練を23年1月に開講したコースを中心に596コースを選定

調査期間：平成23年2月22日～平成23年4月21日

調査方法：厚生労働省の指示の下、雇用・能力開発機構都道府県センターが訓練実施機関を訪問し、出欠簿の確認及び受講者へのアンケート調査を行うとともに、受講者からの事情聴取等を実施

3 調査結果

訪問数：596コース（受講者9,345人）

うち、不正の疑いが残り、引き続き本人からの事情の聴取等により、確認、調査が必要なもの：10コース、13人

- ・ 出欠簿と給付金等の申請書類の齟齬の理由について、事実に基づく明確な説明がなかったもの
- ・ 欠席がやむを得ない事情に当たるとしているが、事実関係に疑義のあるもの
- ・ アンケート調査により、複数の受講者から欠席が多い等の指摘があったもの
等